

報告日 令和8年1月9日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡県三島市			代表者名	豊岡 武士
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画戦略部政策企画課	連絡先電話番号	055-983-2711
担当者役職	戦略プロジェクト推進室	担当者氏名	杉山 倫将	連絡先E-mail	
住所	411-8666 静岡県三島市北田町4番47号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	
担当者氏名	連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業
概要	静岡県三島市において、ICTを活用した市内周遊型のイマーシブ体験コンテンツを企画・開発する。本事業は、三島大社、源兵衛川、楽寿園、市内中心部の商店街や水辺エリアなどを舞台とした没入型の仕組みを導入することで、観光客の回遊性を高め、滞在時間の延伸と地域経済への波及効果を図ることを目的とする。具体的には、ストーリーテリングと動線設計におけるICT活用、地域住民や事業者を巻き込む参加型の仕組みづくりについて助言を求める。また、体験コンテンツ導入に向け、市内関係者を対象とした体験会や研修を実施し、地域全体で理解と協力体制を醸成するプロセス設計についても支援をお願いする。		
支援を求める分野	計画策定支援 地域ビジネス 観光		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン	
	有	277K	令和8年1月9日	講演	実地	
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	
	令和8年2月1日	講演(実地)	13時00分	17時00分	活動時間（分）	
派遣場所	会場名	市役所会議室（調整中）		最寄駅	三島駅	
	所在地	三島市北田町4番47号		最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	初日は市職員向けに開催した本企画ですが、ICTを活用した市内周遊型イマーシブ体験コンテンツ（マーダーミステリー）について事前知識が乏しい中でも、参加者全員が没入し、その本質を深く理解することができた。丁寧な進行と、当事者として自ら体験する形式が相まって、非常に高い実感度と理解促進に繋がり、大変有意義な研修となったように思う。
アドバイザーへの要望事項	特になし（現時点）

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	12人
	属性	自治体職員	住民		
	人数	12			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	コンテンツを理解するのに実施体験を経由したことで、参加者ほぼすべてが1回の実施で概要を理解いただけた。且つ、理解度もかなり高い様子だったため、次につなげるには十分すぎる結果だったように思う。ただし、市内周遊を最終目標とするならば、マーダーミステリーの体験は会場内のゲーム理解に終始しなければならない面があるため、実地での応用という観点からは隔たりがあるように感じられた。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	コンテンツの価値が概ね明確に伝わったことで、この企画に対してある一定の意識づけができ、且つ、市職員が当事者目線で体験し、その面白さや可能性を実感できたことは、庁内での理解促進や関係部署との連携強化にも寄与するように思われる。また、今後の市内周遊型のコンテンツ開発を行うと仮定した場合においても、どのように地域全体へと体験を広げ、連携させていくかという具体的な課題設定と、それに対する解決策を検討するための貴重な見見が得られた。こういった課題認識が、より効果的な事業設計へと繋がるという点で、重要な効果があると感じる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーからの支援を受け、以下の内容で体験会を実施。 イマーシフ観光コンテンツ（マーダーミスティー）の体験会を開催し、冒頭25分間に企画説明として「マーダーミスティーの概要」および「ICTを活用した周遊型観光の最新トレンド」などについて紹介。その後、マーダーミスティーゲーム『愛する故に』を題材としたコンテンツ体験を約3時間にわたり実施。体験終了後には、参加者からの感想共有と活発な意見交換を行った。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	マーダーミスティーが持つ特性として、「参加者の没入感と当事者意識」、「地域資源との融合」、そして「周遊性促進の可能性」が、観光商品として非常に有効であることを明確に認識できた。また、体験会に参加した職員全員がその魅力と没入感を実感し、本企画の趣旨によく共感を示していたことから、地域全体を舞台としたイマーシフ観光コンテンツ発展のビジョン構築に向けてもやや具体性が見えてきたように思う。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 (6)途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回はコンテンツ体験による職員への理解と認識が目的のため。
改善又は解決されなかつた内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 「地域と連携し、周遊型マーダーミスティーとして地域への導入の可能性」に対する評価は、5点配点でアンケートを取った中、平均4.5点と高い結果となった。内容としては、「近年の観光は体験できる点が重要」という認識から、本企画が観光トレンドに合致していることへの期待や、「恋愛要素で婚活、歴史要素で観光など、複数のアプローチが考えられる」といった、観光、婚活、高齢者支援など多様な分野への展開可能性が挙げられる。一方で、「フィールド展開の実現性」に関する課題や、多様な対象層に合わせたコンテンツ調整の必要性も指摘されており、地域連携の具体的なイメージやフィールドでの実装方法に関して、さらなる情報提供と検討が求められる。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい (5)その他 2日目の派遣以降を目安に検討する予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	付加価値の高い観光商品を企画・開発し、市場へ提供することで、地域活性化に貢献していく。

5.報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

